

令和9年度岩手県立大学盛岡短期大学部選抜概要

1 実施選抜区分と募集人員

【前年度からの主な変更点】

(下線部が変更箇所)

区 分		生 活 科 学 科		国際文化学科	計
		生活デザイン専攻	食物栄養学専攻		
一般選抜		<u>10</u>	15	30	<u>55</u>
学校推薦型選抜	一 般	<u>[県内A]</u> 3名 <u>[県内B]</u> 7名 <u>[全国]</u> 5名	<u>[県内A]</u> 3名 <u>[県内B]</u> 7名	15	<u>40</u>
	特 別	—	—	5	5
	帰国生徒選抜	—	—	若干名	若干名
社会人選抜		若干名	若干名	若干名	若干名
学士・短期大学士・専門士選抜		—	若干名	—	—
私費外国人留学生選抜		—	—	若干名	若干名
計		25	25	50	100

2 大学入学共通テストの利用教科・科目

【前年度からの主な変更点】

なし

太字表示は、必須であることを示す。

区 分	生 活 科 学 科				国際文化学科	
	生活デザイン専攻		食物栄養学専攻			
	教科	科 目	教科	科 目	教科	科 目
一般選抜	国語 数学 理科 外国語	『国語』 『数学Ⅰ, 数学A』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』 『物理』『化学』『生物』『地学』 から1 『英語』(リスニングを含む)	国語 数学 理科 外国語	『国語』 『数学Ⅰ, 数学A』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』 『化学』『生物』から1 ただし、『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は「化学基礎」又は「生物基礎」の選択が必須。 『英語』(リスニングを含む)	国語 地理歴史 公民 外国語	『国語』 『地理総合, 地理探究』 『歴史総合, 日本史探究』 『歴史総合, 世界史探究』 『公共, 倫理』『公共, 政治・経済』 『地理総合/歴史総合/公共』 『英語』(リスニングを含む) (3教科3科目)
		(4教科4科目)		(4教科4科目)		から1

注1) 生活科学科において、理科から2科目以上受験した場合は、高得点の1科目の成績を利用します。

注2) 国際文化学科において、地理歴史、公民から2科目(地理歴史と公民を1教科として扱います。)受験した場合は、高得点の1科目の成績を利用します。

3 学力検査等

【前年度からの主な変更点】

なし

学 科	専 攻	学力検査等	備 考
生活科学科	生活デザイン専攻	小論文	
	食物栄養学専攻	小論文	
国際文化学科		小論文	

4 大学入学共通テスト利用教科と学力検査等の配点

【前年度からの主な変更点】

・生活科学科生活デザイン専攻において、下記のとおり変更します。

学 科	専 攻	大学入学共通テスト						学力検査等			合 計
		国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	計	小論文	調査書	計	
生 活 科 学 科	生活デザイン 専 攻	100	—	<u>100</u>	100	<u>100</u>	<u>400</u>	100	50	150	<u>550</u>
	食物栄養学 専 攻	200	—	200	200	200	800	200	50	250	1,050
国際文化 学 科		200	100	—	—	200	500	200	—	200	700

注1) 大学入学共通テストの成績は、令和9年度大学入学共通テストの成績に限り利用します。

注2) 大学入学共通テストの各教科の欄は、当該学科・専攻の受験に要する大学入学共通テストの教科(科目)の配点を示します。

注3) 生活科学科生活デザイン専攻において、大学入学共通テストの国語と外国語は素点200点満点を100点に換算します。

注4) 生活科学科食物栄養学専攻において、大学入学共通テストの数学と理科は素点100点満点を200点満点に換算します。

注5) 生活科学科生活デザイン専攻において、外国語について、受験上の配慮によるリスニング免除者は、リーディングの素点100点満点の成績をそのまま利用します。

注6) 生活科学科食物栄養学専攻と国際文化学科において、外国語について、受験上の配慮によるリスニング免除者は、リーディングの素点100点満点を200点満点に換算します。

5 一般選抜以外の入試の出願要件

【前年度からの主な変更点】

- ・生活科学科において、下記のとおり変更します。

区分	生活科学科		国際文化学科		
	生活デザイン専攻	食物栄養学専攻			
学校推薦型選抜	次のいずれかに該当する者 [県内A]、[県内B] ① 岩手県内の高校を令和9年3月に卒業見込み等で高校長が責任をもって推薦できる者で、かつ、調査書の学習成績の状況が3.8以上の者 ② 岩手県内に在住の者(注1)で、岩手県外の高校等を令和9年3月に卒業見込み等で高校長等が責任をもって推薦できる者で、かつ、調査書の学習成績の状況が3.8以上の者 [全国] 高校を令和9年3月に卒業見込み等で高校長が責任をもって推薦できる者で、かつ、調査書の学習成績の状況が3.8以上の者		次のいずれかに該当する者 ① 岩手県内の高校を令和9年3月に卒業見込み等で高校長が責任をもって推薦できる者で、かつ、調査書の学習成績の状況が3.8以上の者 ② 岩手県内に在住の者(注1)で、岩手県外の高校等を令和9年3月に卒業見込み等で高校長等が責任をもって推薦できる者で、かつ、調査書の学習成績の状況が3.8以上の者		
	県内A	1、2に関する科目をあわせて12単位以上修得し、卒業(修了)見込みの者 1. 家庭に関する教科(注2) 2. 福祉に関する教科(注3) または、工業に関する学科を卒業見込みの者	県内A	1、2、3に関する科目をあわせて12単位以上修得し、卒業(修了)見込みの者 1. 家庭に関する教科(注2) 2. 福祉に関する教科(注3) 3. 上記以外の教科に含まれる食物に関する科目(注4)	各高校等から推薦できる人数 本校・分校の別を問わず、あわせて2名以内
	県内B 全 国	推薦区分A以外の卒業(修了)見込みの者	県内B	推薦区分A以外の卒業(修了)見込みの者	
	特別	—	—	—	各高校等から推薦できる人数 岩手県内高校 [県内A]、[県内B]にあわせて3名以内 [全国]に2名以内 岩手県外高校 [全国]に2名以内 ※本校・分校の別を問わない。
特別	—	—	—	令和9年3月に卒業見込み等で高校長等が責任をもって推薦できる者で、かつ、特定技能について特別に優れた取得資格を有する者(注5)。県内・県外の別、本校・分校の別を問わず、推薦人数は制限しない。	
帰国生徒選抜	—	—	—	日本国籍を有する者等であって、保護者の海外勤務等の事情により外国の教育を受け、外国において最終学年を含め2年以上継続して学校教育を受け、学校教育における12年の課程を令和7年4月1日から令和9年3月31日までに修了(卒業)または修了見込み(卒業見込み)の者等(保護者が転勤等により先に帰国した場合は、その後の単身在留期間が1年未満であること。)	
社会人選抜	令和9年4月1日に満20歳に達している者で、高校を卒業した者等			令和9年4月1日に満21歳に達している者で、高校を卒業した者等	
学士・短期大学士・専門士選抜	—	—	—	次のいずれかに該当する者 (1) 学士・短期大学士の学位を取得した者、または令和9年3月までに取得見込みの者。 (2) 専門士の称号を取得した者、または令和9年3月までに取得見込みの者。	
私費外国人留学生選抜	—	—	—	日本国籍を有しない者で、出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有することとなる者(日本国永住者を除く。)で、かつ日本留学試験を受験した者で、学校教育における12年の課程を修了(卒業)または令和9年3月までに修了見込み(卒業見込み)の者等	

注1) 「岩手県内に在住の者」とは、本人又は配偶者若しくは一親等の親族が出願期間の最終日の1年前から岩手県内に住所を有する者をいう。

注2) 家庭基礎、家庭総合を除く科目で、保育基礎、保育実践、生活と福祉、住生活デザイン、服飾文化、ファッション造形基礎、ファッション造形、ファッションデザイン、服飾手芸、フードデザイン、食文化、調理、栄養、食品、食品衛生など。

注3) 社会福祉基礎、介護福祉基礎、福祉情報など。

注4) 食品製造、食品化学、食品微生物、食品流通など。

注5) 推薦(特別)において、「特定技能について特別に優れた取得資格」とは、別紙のとおりである。

6 一般選抜以外の入試の方法

【前年度からの主な変更点】

- ・生活科学科食物栄養学専攻において、下記のとおり変更します。

区分	生活科学科		国際文化学科
	生活デザイン専攻	食物栄養学専攻	
学校推薦型選抜	一般	小論文、面接、調査書	小論文、面接、調査書
	特別	—	小論文、面接、調査書等
帰国生徒選抜	—	—	小論文、面接
社会人選抜	小論文、面接		小論文、面接
学士・短期大学士・専門士選抜	—	小論文、面接	—
私費外国人留学生選抜	—	—	小論文、面接

注1) いずれも大学入学共通テストを免除する。

注2) 学校推薦型(特別)においては、調査書等総合判定資料に、特別に優れた取得資格の証明書を含む。

7 入学試験日程

選抜区分	出願受付期間	選抜期日	合格発表日
一般選抜	令和9年1月25日(月)から 令和9年2月3日(水)まで	令和9年2月18日(木)	令和9年3月1日(月)
学校推薦型選抜 帰国生徒選抜 社会人選抜 学士・短期大学士・専門士選抜 私費外国人留学生選抜	令和8年11月2日(月)から 令和8年11月9日(月)まで	令和8年11月29日(日)	令和8年12月8日(火) (私費外国人留学生除く) 令和9年1月22日(金) (私費外国人留学生)